

スチバーガ CRC WEBカンファレンス

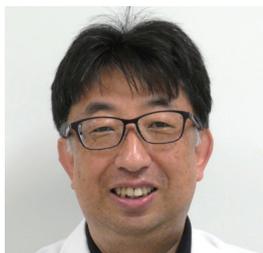
日時：2021年11月24日(水)
19:00~20:00

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じて
ライブに参加いただけるカンファレンスです。



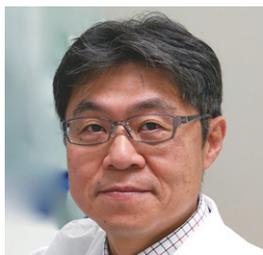
スマートフォンのカレンダー登録はこちら▶

一般病院で実現可能な 最新大腸癌治療とは



座長

室圭 先生 愛知県がんセンター副院長/薬物療法部 部長



演者

金澤 旭宣 先生 島根県立中央病院 外科診療部長
臨床ゲノム医療推進室長

近年、大腸がんにおいても高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-H)や神経栄養因子チロシンキナーゼ受容体(NTRK)融合遺伝子など特定のドライバー遺伝子に対して、遺伝子特異的な治療が登場してきている。またドライバー遺伝子が検出されない患者についても、適切な薬剤シーケンスを行うことで生存延長につながっている。今回は一般病院において患者さんに合わせた最新大腸癌治療をどのように行っていくのか、ヴァイトラックビを中心としたがんゲノム医療とスチバーガを含む後方ライン治療を中心に紹介したい。

【略歴】

1989年 大阪医科大学卒業	2001年 島根県立中央病院
1989年 京都大学医学部附属病院 外科 研修医	2007年 大阪赤十字病院
1989年 公立小浜病院	2013年 田附興風会医学研究所 北野病院
1990年 赤穂市民病院	2016年 島根県立中央病院
1994年 大阪府済生会泉尾病院	2019年 島根県立中央病院臨床ゲノム医療推進室室長 消化器外科部長(兼任)
1995年 京都大学 器官外科学消化器外科(第2外科)	2021年 島根県立中央病院 外科診療部長(外科・消化器外科部長事務取扱)
1999年 米国Mayo clinic Dept. Surgery, リサーチフェロー	現在に至る

● WEBカンファレンスの参加方法は裏面をご参照下さい。

主催：バイエル薬品株式会社